

## 第43回青森県薬剤師会学術大会 テーマ 『繋ぐ～薬局から地域へ、薬剤師の可能性～』

令和6年度の学術大会が去る10月6日(日)ホテル青森で開催され、発表者のそれぞれの目線での『繋ぐ』を参加者皆で共有することができました。

今年度は111名(会員94名・非会員4名・青森大学4名・会長・講師2名・来賓6名)の参加者が集い、研鑽を積みました。

特別講演では、災害をテーマに日本薬剤師会常務理事の山田卓郎先生と岩手県薬剤師会理事の金野良則先生からご講演をいただきました。

続いて『災害時に薬剤師は何をすべきか』をテーマに山田先生・金野先生・白滝会長の3人でディスカッションを行いました。会場からも質問があるなど参加者との距離感の近い、価値あるディスカッションとなりました。

ランチョンセミナーは2演題、会場ロビーでの展示は各ベンダー・ディーラーによるシステム機器・調剤支援機器・レセコン機器等展示、説明が行われ多くの来場者で賑わっていました。

ポスター発表は青森大学の学生も含めた6演題あり、示説では活発な質疑応答が行われていました。

口頭発表は8演題あり様々な視点での発表で、参加者と活発な質疑応答、意見交換がなされました。

また、令和6年10月6日付で青森県と青森県薬剤師会は災害協定を締結し、開会式の中で締結式が執り行われました。締結はゴールではなく、今後は県との更なる連携と我々薬剤師のスキル向上が益々重要となるため、今回の内容を踏まえてしっかりと研鑽を積んでいけたらと感じました。

学術大会は、青森県薬剤師会会員・青森県病院薬剤師会会員・薬学生に日常の業務の中で生まれた、クリニカルクエスチョンや気づき・ひらめきを気軽に発表し、参加者との議論の中で研究を練り上げ、論文投稿への足がかりにしたり、自分の工夫や地域での取り組みや問題提起などに活用できる場ではないかと考えております。

来年度も多くの発表や参加をお待ちしております。



前日の懇親会  
(講師の山田先生・金野先生を囲んで)



開会式



災害協定締結式



岩手県薬剤師会 金野先生



日本薬剤師会 山田先生



パネルディスカッション



機器展示の様子



ご担当である  
生涯学習委員会のみなさま

本当に  
ありがとうございました！

# 第43回青森県薬剤師会学術大会

テーマ 『繋ぐ～薬局から地域へ、薬剤師の可能性～』

主催： (一社)青森県薬剤師会

後援： 青森県、(公社)青森県医師会、(一社)青森県歯科医師会、(公社)青森県看護協会、  
(学)青森大学、(公社)青森県介護支援専門員協会、青森県病院薬剤師会

日時： 令和6年10月6日(日) 9時30分～16時40分 (受付開始 9時～)

会場： ホテル青森 (青森市堤町1丁目1-23)

## 開会式(9:30～10:10) 3階 孔雀の間

大会長挨拶	(一社)青森県薬剤師会	会長	白滝 貴子
来賓祝辞(予定)	青森県 (公社)青森県医師会 (公社)青森県看護協会 (学)青森大学 (公社)青森県介護支援専門員協会 青森県病院薬剤師会	知事 会長 会長 学長 会長 会長	宮下 宗一郎 様 高木 伸也 様 川野 恵智子 様 澁谷 泰秀 様 木村 隆次 様 田村 健悦 様

## 特別講演 (10:20～12:20) 3階 孔雀の間

座長 (一社)青森県薬剤師会 会長 白滝 貴子

講演1 (10:20～10:50)

『被災地で求められる薬剤師の活動』

一般社団法人岩手県薬剤師会 理事 金野 良則 氏

講演2 (10:50～11:50)

『薬剤師の災害支援について』

公益社団法人日本薬剤師会 常務理事 山田 卓郎 氏

パネルディスカッション(11:50～12:20)

(仮)『災害時に薬剤師は何をするべきか』

パネリスト	公益社団法人日本薬剤師会 一般社団法人岩手県薬剤師会 一般社団法人青森県薬剤師会	常務理事 理事 会長	山田 卓郎 氏 金野 良則 氏 白滝 貴子
-------	--	------------------	-----------------------------

## ランチョンセミナー(12:35～13:25)

① 会場 3階 孔雀の間 座長 青森県薬剤師会

「国策 医療DX 電子カルテ情報共有サービスとは」  
～調剤薬局業務に関わる各種サービスについて～

株式会社シグマソリューションズ 青森支店長 亀山 貴明 氏

② 会場 3階 あすなろの間 座長 青森県薬剤師会

「長期収載品の選定療養と今後の生産体制について」

沢井製薬株式会社 営業本部 仙台支店 牛坊 陽一 氏

企業展示・ポスター閲覧時間 13:25～14:15

## 出展企業 展示品説明(13:25～13:55) 3階 孔雀の間

出展企業 7社

**会員ポスター発表 3階 はまなすの間 (発表者立ち会い時間 13:30-14:10)**

司会 (一社)青森県薬剤師会

- ① 「実務実習で学んだこと 1」 青森大学 薬学部 佐々木 悠哉
- ② 「実務実習で学んだこと 2」 青森大学 薬学部 中村 歩生
- ③ 薬局会員向け 調剤情報共有サービスLINCLEはちのへの導入について  
一般社団法人八戸薬剤師会 阿達 昌亮
- ④ 薬剤師と管理栄養士との連携による生活習慣病の治療に向けた取り組み  
テック調剤薬局金沢店 植木 怜奈
- ⑤ 流通は？プロトコールは？～八戸地区疑義照会調査2回目を経て～  
一般社団法人八戸薬剤師会 西原 大介
- ⑥ 能登半島地震災害支援での薬剤師の活動 何ができ、何が必要か  
ひなた薬局 木皮 美賀

**会員口頭発表(14:25～16:25) 3階 孔雀の間 発表10分、討議5分**

第1部

座長 (一社)青森県薬剤師会

- ① 青森労災病院の処方箋記載の検査数値とお薬手帳により他院からの併用薬を中止できた2症例  
サンケア薬局白銀店 赤石 将成
- ② 10分カンファレンスで服薬情報提供書提出とかかりつけ薬剤師につなげた事例  
テック調剤薬局浜田店 木村 麗歌
- ③ 残薬調整を活用した健康サポート機能充実事業報告  
「残サポ」事業から見えたこと、県内薬局は地域包括にどう資するのか？  
一般社団法人青森県薬剤師会 青柳 伸一
- ④ 地域包括ケアシステムにおける薬局の役割～組織論と経営戦略分析から考える～  
有限会社テック 千葉 英三

第2部

座長 (一社)青森県薬剤師会

- ⑤ 院外処方箋における疑義照会簡素化プロトコール開始から9か月を振り返る  
あおもり協立病院 金田一 成子
- ⑥ 退院時薬剤情報提供書(薬剤管理サマリー)と保険薬局の返書で繋ぐ薬薬連携  
あおもり協立病院 三上 勇
- ⑦ 保険薬局における医療用医薬品の不動在庫の実態について  
一般社団法人青森市薬剤師会 中堀 一弥
- ⑧ 能登半島地震災害支援の活動報告  
サカエ薬局 堅田 清野 芳恵

**閉会式(16:25～16:40) 3階 孔雀の間**

学術奨励金授与

(一社)青森県薬剤師会 会長 白滝 貴子

閉会の挨拶

(一社)青森県薬剤師会